



なんごく・こうち地方拠点都市



アクションプログラム

⑩

“自立への挑戦”はいまー！

なんごく・こうち地方拠点都市地域整備推進協議会（会長・大町行治南国市長）は、高知工科大学を中心とした「土佐山田学園都市整備地区」を拠点地区に追加。新たに「学の拠点」にするなど、基本計画の一冊を変更しました。今回は、そのあらましをご紹介します。

土佐山田で

学園都市づくり

▲なんごく・こうち地方拠点都市地域（南国市・高知市と香美郡の町村の十カ市町対で構成）の基本計画が一年

半ぶりに見直しされたそうです。

基本計画は平成五年三月、

全區に先がけて県知事の承認を受けました。その後、県の高知工科大学（仮称）が計画

され、工科大学を中心とした「学園都市」が

総面積は五十六万坪で、工科

大学十五・三万坪、土地区画整理事業（新たな市街地づくり）

三十五・八万坪、鏡野公園五・四万坪となっています。工科大学を中心として、その周辺部に新たな市街地をつくり学園都市にする構想です。工科大については県が建設し、民間が運営する「公設民営方式」

で「職・住・遊・学のバランスのとれたまちづくり」をしようとするものです。拠点都市の基本計画では「学」の部分

が少し弱かったわけですから、これによって高知県における学術・教育・研究の中心

にふさわしい良好な居住環境をもった市街地の整備が進み、学の拠点となる学園都市ができるものと期待されています。

高知工科大を追加

基本計画を見直し

土佐山田町

片地で設置されることになったことによるものです。

▲大学を中心とした新しいまちづくりがされるわけ

です。

です。学科は工学部環境シ

テム工学科、機械システム工学科、電子システム工学科、情報システム学科、社会システム工学科の五学科、一学科

百人で学生総数二千人、平成九年四月開学予定で、七年四月から事業に入る予定です。

▲拠点都市地域では「学」

の機能を担うわけですね。拠点都市は構成十カ市町村が役割を分担して、全体とし

また、この隣には「高知中

央中核工業団地」（総面積九十万坪、平成九年度から一部分譲り予定）が計画されています。

▲このほかにも基本計画の変更がありましたか。

基本計画の総事業は百四十四件でしたが、今回新しく十二件追加、一件削除しました。

で、全体で百五十一件になりました。「土佐山田学園都市」や「中核工業団地」に関連して公共下水道、賃貸住宅の建設、都市計画道路の高知山田線、県道龍河洞公園線、宮ノ口深淵線、間宮ノ口線などが

整備されます。そのほか、追加した事業は新県立図書館

（平成七年度から十年年度・高知市）牧野記念館・牧野パーク整備（平成五年度から十四年度・高知市、約二十万坪）女性総合センター（平成四年度から九年度・高知市）です。

また、高知中央中核団地整備が具体化されたことにより、「土佐山田町ハイテク工業団地（大平地区）」を計画から削除しました。

▲工科大学が入ることで、

これまでの事業にしわ寄せされる心配はないのですか。

大町会長からも「現行の基本計画は各市町村が足の引っ張りあいもなくスムーズにできた。他の事業への心配のないように」と要請。県地域政策課長は「各事業の一覧表を作り、次年度に何が出来るかなど進行管理していく」と答えています。

（次回は、居住環境の整備について紹介します）

